

---

# 箴言 あるいは眠れぬ夜の独言

ペケぼむ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

箴言 あるいは眠れぬ夜の独言

### 【Nコード】

N1043K

### 【作者名】

ぺけぼむ

### 【あらすじ】

ふと夜中に目が冴えたときにまとまった倫理的テーマをいくつかまとめています。

主として小説を書く暇も読む暇もない方にどうぞ。

ちょっとした小説のアイデアのタネくらいにはなるはず。

人生の中で音もなく訪れる唯一の出来事と云ったら、死ぬことだけしかない。その他のことは、聞きおとしていただけで、たいてい騒がしく何らかの騒音を伴っているか、あるいは自らを予告している。

\*\*\*\*\*

文句を言っていれば誰かが何とかしてくれると言う発想は、権力と相性がいい。権力とは、命令さえすれば人が動くということだからだ。

被支配民が奴隷の境遇に深く落ち込むほど権力は栄える。両者が同じ発想を抱くようになるからだ。

\*\*\*\*\*

愛について語られるのは常に愛が終わってからだ。

\*\*\*\*\*

自分が作った料理がまずく感じるようになったら、鬱病を疑った方がいい。もしも配偶者が作ったものがそう思えるなら、忍耐力の試練の時がきたのである。

\*\*\*\*\*

努力の価値について。

ぬかるみが無辺に広がっているとついこむよりも、どこかに美しい庭があると信じていた方が楽ではある。だが、どんな庭でも元をただせば踏み固めたぬかるみだということがせいぜい事実である。

\*\*\*\*\*

死後に世界があるかどうかを疑うことに意味はない。

世界は常に、自分以外の誰かが死んだ後に残されたという相貌をとって現れる。

遺言という行動は、この世界の現れの前提においてのみ意味を持つ。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1043k/>

---

箴言 あるいは眠れぬ夜の独言

2010年12月10日02時44分発行